



2012年12月 7日(金) ～

12月 20日(木) の活動

○ 会員懇談会 (石川会場)

12月10日(月) 金沢市

平成24年度会員懇談会(石川会場)を開催し、会員48名が出席した。

懇談会では、永原会長の挨拶の後、2つのテーマについて、自由懇談が行われた。①「北陸新幹線 金沢開業に向けて」では、「新幹線駅からの2次交通の充実、さらには、土産物からタクシー運転手の対応に至るまで、おもてなしを真剣に考えることが大切」などの意見があった。②「我が国のエネルギー政策」では、「地下資源がない島国のエネルギー安全保障の観点から、エネルギーのベストミックスが重要」などの意見があった。

続いて、日本総合研究所理事長の寺島実郎氏が、「新しい国家エネルギー戦略の考え方」と題して講演した。その中で、米国はシェールガス、シェールオイルの回収技術の確立により、中東に依存しなくてもよくなった。このように世界のエネルギー情勢は、激しく動いている。日本国内では、再生可能エネルギー重視といっていれば、一定の知識人だと思われるが、そのような安易な議論では、世界から置き去りになってしまう。外部依存の割合の高い日本では、再生可能エネルギーも大事、省エネルギーも大事、化石燃料のより有効な技術開発も重要、原子力も一定の割合を保つことが必要である。エネルギー政策は、単純に考えてはいけなと結論づけた。
(担当：大嶋)

○ 第320回常任理事会

12月12日(水) 金沢市

第320回常任理事会を開催し、永原会長はじめ18名が出席した。審議事項として、25年度活動方針を説明し、基本的な方向について、了承を得た。また、北陸新幹線金沢開業をにらみ、JR デスティネーションキャンペーンに関しては、現在の状況を説明し、今後の対応を検討した。

また、北陸新幹線の敦賀以西について、大阪とつながらないと、交通ネットワークとしての価値が十分に発揮されないとの意見が相次いだ。そして、敦賀以西の開通を促進させるには、関西の経済界とさらに連携すべきとの意見が出された。

このほか、第319回(書面による)常任理事会での審議決定事項である「エネルギー・環境政策に関する北陸経済界からの要望」について報告。国政選挙の結果をみて、北陸新幹線の整備促進と合わせて、国へ要望していくこととした。(担当：浅井)

○ 高信頼システム情報交換会

12月13日(木) 金沢市

北陸先端科学技術大学院大学、(一財)北陸産業活性化センターとの共催で、標記情報交換会を開催した。日本アイ・ビー・エム(株) 池田 一昭氏、みずほ情報総研(株) 紀伊 智頭氏を講師に迎え、北陸の企業・自治体から98名が参加した。

池田氏からは、多数の企業・需要家が参加するBEMS(Building Energy Management System) HEMS(Home Energy Management System)等のプロジェクトの進め方について、紀伊氏からは、省エネルギーで災害に強いスマートシティ形成の取り組みについて、国内外の事例を交えてそれぞれ講演いただいた。
(担当：岩田)

○ 中部経済連合会との懇談会

12月19日(水) 金沢市

小松駅前の産業観光施設「こまつの杜」、北陸新幹線「白山総合車両基地」などを視察後、平成26年度末の北陸新幹線金沢開業に臨んで、東海圏等と北陸三県の広域観光の在り方について、情報共有・意見交換を行った。

①昇龍道プロジェクトに関しては、県関係者は知っているが、市町村関係者に「初めて聞いた」との声も多く聞かれることから、告知強化が必要との指摘があった。また、次回の昇龍道プロジェクト推進協議会を、北陸(金沢)で開催する計画について案内があった。

②北陸三県・長野県の協力体制については、富山県と長野県間で、立山黒部アルペンルート、木曾義仲などをテーマとした連携がある旨情報共有した。

(担当：浅井)

お知らせ

○北陸AJEC 設立20周年記念シンポジウム

日時：平成25年2月22日(金)

13時30分～18時30分

場所：金沢ニューグランドホテル4F 金扇の間

テーマ：「グローバル経済に適応する北陸地域・企業の進路と戦略」～北陸AJECの役割を考える～

【プログラム】

① 基調講演

講師 経済産業研究所 所長 藤田 昌久氏

② パネルディスカッション

③ 懇親交流会

詳細につきましては、後日、ご案内致します。

[お申込み・お問合わせ先]

北陸AJEC(北陸環日本海経済交流促進協議会)

TEL:076-231-5525(担当：石村)